

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床微生物学Ⅰ	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	金子 博司 ※
授 業 概 要					
病原細菌の概要、病原性と同定方法、薬剤感受性試験について学習する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・微生物の同定及び薬剤感受性試験の方法、結果の解釈について説明できる。 ・機械、器具、試薬、培地、標準菌株等の細菌学的検査の精度管理を説明できる。 ・臨床で重要となる細菌、特にグラム陽性菌、呼吸器感染症原因菌、性感染症原因菌について説明できる。 					
実務経験のある教員					
金子 博司：病院での臨床経験を踏まえ、微生物検査の対象と意義及び各種病原体の特徴について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	微生物の同定法、薬剤感受性試験法-1				金子 博司 ※
2	微生物の同定法、薬剤感受性試験法-2				
3	微生物の同定法、薬剤感受性試験法-3				
4	グラム陽性球菌：スタフィロкокカス属-1				
5	グラム陽性球菌：スタフィロкокカス属-2				
6	グラム陽性球菌：ストレプトкокカス属、エンテロкокカス属-1				
7	グラム陽性球菌：ストレプトкокカス属、エンテロкокカス属-2				
8	グラム陽性球菌：ストレプトкокカス属、エンテロкокカス属-3				
9	グラム陰性球菌：ナイセリア属、モラクセラ属				
10	グラム陰性桿菌：レジオネラ属				
11	グラム陰性桿菌：ヘモフィルス属				
12	性感染症全般				
13	グラム陰性桿菌：腸内細菌科の定義、検査法全般-1				
14	グラム陰性桿菌：腸内細菌科の定義、検査法全般-2				
15	1～14回のまとめ、臨床微生物学Ⅱで学ぶ内容の総括				
学 習 方 法					
・教科書と参考書を中心に講義する。微生物は染色像など画像を多用する科目のため、必要な情報はスライドで提示する。					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・月曜試験を実施する。 ・定期試験（70%）及び月曜試験（30%）により評価する。 ・再試験は月曜試験の内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
微生物学					
教科書、参考書					
[教科書] 最新臨床検査学講座 臨床微生物学 松本 哲哉 他 医歯薬出版 [参考書] 病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 MEDIC MEDIA					